

都市再生整備計画 事後評価シート
富士駅周辺地区

平成29年2月

静岡県富士市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県	市町村名	富士市	地区名	富士駅周辺地区			面積	530 ha				
交付期間	平成24年度～平成28年度	事後評価実施時期	平成28年度	交付対象事業費	1,080百万円	国費率	0.4						
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路((歩道整備)本町二丁目3号線、(道路案内標識設置)本町8号線、(自転車歩行者道整備)臨港富士線、(舗装改良)田子浦鷹岡線、(塗装補修)加島町歩道橋、(塗装補修)平垣本町歩道橋、高次都市施設((地域交流センター)富士駅北まちづくりセンター、(地域交流センター)富士駅南まちづくりセンター)、バリアフリー環境整備促進事業(富士駅周辺地区)										
		提案事業	地域創造支援事業((歩道橋塗装) 国久歩道橋)、事業活用調査(事業効果分析調査)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名	削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響							
		提案事業											
	新たに追加した事業	基幹事業											
		提案事業											
交付期間の変更	当初		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
							モニタリング	評価値					
	指標1	まちづくりセンター利用満足度	%	26	H23	50	H28		40	△	あり ● なし	周辺道路整備によるまちづくりセンターへのアクセシビリティの向上や、富士駅北まちづくりセンター、富士駅南まちづくりセンターが改築されたことで、まちづくりセンターの利用満足度アップにつながった。特に、利用環境や施設整備についての満足度が大幅に伸びている。	平成29年度
	指標2	まちづくり活動参加者数	人	71,807	H22	78,000	H28		82,166	○	あり なし	地区全体の交通環境整備等によるアクセシビリティの向上や、富士駅北まちづくりセンター、富士駅南まちづくりセンターが改築されたことによる利便性アップが、まちづくり活動参加者数の向上につながっている。	平成29年度
	指標3	交通環境満足度	%	12	H23	36	H28		46	○	あり なし	駅周辺における歩道や車道の改善が図られたことにより、交通環境の満足度の向上につながった。	
	指標4	防災拠点満足度	%	25	H23	55	H28		42	△	あり ● なし	富士駅北まちづくりセンター、富士駅南まちづくりセンターの改築によって耐震性が確保されたほか、防災倉庫の拡充等により、防災拠点満足度の向上につながった。しかし、富士駅南まちづくりセンターは改修後1年未満であり、防災拠点としての認知度が低かったことから、満足度が伸び悩んだと考えられる。	平成29年度
指標5										あり なし			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
							モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4) 定性的な効果発現状況	*富士第二小学校は地区の避難所に指定されているにもかかわらず地震の際の天井落下等が懸念されていたが、関連事業「富士第二小学校屋内運動場天井改修事業」によって、防災・安全安心が強化できたとの声があがっている。												
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況			今後の対応方針等						
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	・富士駅北まちづくりセンターの整備に関し、より充実した内容となるよう、住民の意見を広く反映し検討を行う場として、「富士駅北まちづくりセンター建設委員会」を設置 ・富士駅南まちづくりセンターの整備に関し、より充実した内容となるよう、住民の意見を広く反映し検討を行う場として、「富士駅南まちづくりセンター建設委員会」を設置		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						●			
持続的なまちづくり体制の構築	地区まちづくり協議会への活動支援		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							●			

様式2-2 地区の概要

富士駅周辺地区(静岡県富士市) 都市再生整備計画事業の成果概要													
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値									
『地区住民の交流拠点、文化情報の発信拠点、防災の対応拠点を整備し、地区内の拠点性の向上を目指す』 『豊かで充実した人生を送るための学びの場と機会を図り、市民活動団体を支援し、市民と行政の協働のまちづくりを目指す』 『道路環境の向上を図り、地区内の移動の円滑化および交通安全の確保を目指す』 『地区住民と行政が連携し防災対策を強化し、防災活動の潤滑化を図り、災害に強いまちづくりを目指す』	まちづくりセンター利用満足度	単位: %	26 H23	50 H28	40 H28								
	まちづくり活動参加者数	単位: 人	71,807 H22	78,000 H28	82,166 H28								
	交通環境満足度	単位: %	12 H23	36 H28	46 H28								
	防災拠点満足度	単位: %	25 H23	55 H28	42 H28								
		単位:	H	H	H								
<ul style="list-style-type: none"> □ 提案事業 事業効果分析調査 ■ 基幹事業 道路 歩道橋塗装事業(加島町歩道橋) ■ 基幹事業 高次都市施設 富士駅北まちづくりセンター建設事業 ■ 基幹事業 道路 歩道橋塗装事業(平塚本町歩道橋) ■ 基幹事業 道路 田子浦鷹岡線舗装改良事業 ■ 基幹事業 道路 本町8号線道路案内標識設置事業 ○ 関連事業 富士市の顔づくり推進事業 ○ 関連事業 富士駅南口田子浦線整備事業 					<ul style="list-style-type: none"> □ 提案事業 歩道橋塗装事業(国久歩道橋) ■ 基幹事業 道路 臨港富士線自転車道整備事業 ■ 基幹事業 バリアフリー環境整備促進事業 富士駅周辺地区バリアフリー基本構想策定業務 ■ 基幹事業 道路 本町二丁目3号線歩道整備事業 ○ 関連事業 コミュニティバス運行事業 ■ 基幹事業 高次都市施設 富士駅南まちづくりセンター建設事業 ○ 関連事業 富士第二小学校屋内運動場天井改修事業 								
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2">凡 例</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; height: 10px; background-color: yellow;"></td> <td>基幹事業</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; height: 10px; border: 1px dashed black;"></td> <td>提案事業</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; height: 10px; border: 1px dotted black;"></td> <td>関連事業</td> </tr> </table>						凡 例			基幹事業		提案事業		関連事業
凡 例													
	基幹事業												
	提案事業												
	関連事業												
まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの希薄化が懸念されていたが、富士駅北・富士駅南まちづくりセンターが改築されたことで、地域コミュニティ活動に対する利便性が向上し、地域コミュニティの活性化に寄与した。 ・交通結節点としての機能や移動円滑化が求められていたが、富士駅周辺の各種道路事業およびバリアフリー環境整備促進事業等により地区全体の交通環境が向上した。 ・地域防災の拠点及び避難施設となる施設の整備が求められていたが、富士駅北・富士駅南まちづくりセンターの改築、及び富士第二小学校の屋内運動場天井改修等により防災拠点としての機能強化が図られた。 												
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー環境整備促進事業に基づき、歩道の改修を進めるとともに、交通マナーの啓発等を推進する。 ・講座の充実や利用環境の向上など、地域コミュニティに対する利便性の向上を図るとともに、それらの周知のための情報発信を強化する。 ・地区の発展や課題の解決に向けた住民主体の取組を支援し、コミュニティの担い手となる人材の育成や発掘、情報共有などに努める。 ・さらなる良好な交通環境を形成するため、道路や駅前広場の整備を促進するとともに公共交通を拡充する。 ・地域防災拠点の認知度を高めるため、まちづくりセンターの施設および有する機能の周知に向けた取組を拡充する。 												